

2013年11月1日

2014年度日本都市計画学会中国四国支部研究発表会の論文募集について

日本都市計画学会中国四国支部学術委員会

下記の通り、研究発表会の論文を募集いたします。実用性の面で都市計画に寄与する実務報告や実践報告も奮ってご応募ください。

記

(開催日時) 2014年4月5日(土)

(開催場所) 広島市内(具体的な場所は未定)

(発表内容) 都市計画に関する研究、報告、調査、紹介、論説等。

(前年度や過去の業務報告、実践報告など、実務担当者からの報告も歓迎します)

(応募資格) 発表者は学会員であること。連名者は非学会員でもよい。ただし、委員会が認めた場合は、発表者が非学会員でもよい。

(申込み方法)

1. 発表者および連名者の氏名、所属、会員種別
2. 連絡先の氏名、住所、電話番号、ファックス番号、E-mailアドレス
3. 論文題目

をまとめて、下記の送付先にメールあるいはFAXで2014年1月10日(金)までに申し込んでください。

(発表原稿の提出) 2014年2月28日(金)までに下記の送付先に、できるだけメールの添付ファイル

(Windows or MacintoshのWORD)で提出して下さい。メールで提出できない場合はハードコピーで送付して下さい。

(発表原稿のページ数) 2あるいは4ページ

(投稿料) 1,000円/ページの投稿料を発表当日、受付でお支払い下さい。

(送付先/問合せ先)

〒737-8506 広島県呉市阿賀南2-2-11

篠部 裕(呉工業高等専門学校 建築学科) 宛

電話 0823-73-8494 FAX 0823-73-8496 E-mailアドレス shinobe@kure-nct.ac.jp

●当日のプログラム、発表方法、開催日時・場所の詳細については別途お知らせします。

(原稿執筆要領)

1. 用紙設定

白地のA4判2あるいは4ページとする。横書き2段組を原則とし、ワープロソフト等で上マージン25mm、下マージン22mm、左右マージン15mm、1ページあたり42行、1段あたり23文字を基準(文字の大きさ10または10.5ポイント)として設定する。

2. 文字

和文はJIS第一水準、第二水準の漢字を使用し、本文書体は和文の場合明朝体、英文はTimes New Romanを用いることが望ましい。

3. 記載方法

(1) 1ページ目上段

- ・1ページ目上段に表題、発表者名の順に記載する。
- ・表題は第1行に14ポイントで書く(中央揃い)。和文表題および章タイトルはゴシック、英文の場合はBoldとすること。
- ・発表者名(連名の場合は発表者氏名の前に○印をつける)は上段右側に寄せる。

(2) 1ページ目下段(発表者所属)

- ・記載欄と本文の間に罫線を引く。
- ・左から会員種別、所属(連絡先のメールアドレス、あるいはファックス/電話)の順に記載する。

- ・ 英文の場合、講演発表者名はローマ字で姓・名の順に記入し、姓は全て大文字とし、名は頭文字のみ大文字とする。
 - ・ 記載欄が複数行にわたる場合でも下マージンは 22mm 取ること（下マージンには何も記載しない）。
- (3) ページ番号は付けない。
- (4) 図表および写真
図表は原稿に直接書き込み、写真は本文原稿に貼り込む。
- (5) その他
- ・ その他詳細は、日本都市計画学会学術論文執筆要項に準じる。
 - ・ 本文は全て白黒印刷となるため、図表や写真などが白黒印刷でも見やすくなるよう配慮すること。

4. 書き方書式例

上マージン25mm

和文表題

(1行あける)

○都市太郎*・都市次郎**

(1行あける)

1. はじめに
本文

表-1 ○○○○

図-1 ○○○○

5. おわりに

左マージン
15mm

右マージン
15mm

* 正会員 都市大学工学部 教授 (メールアドレス)
** 学生員 都市大学大学院工学研究科 (メールアドレス)

下マージン22mm

日本都市計画学会中国四国支部研究発表会原稿執筆要領（論文書式雛形）

○都市太郎*・都市次郎**

1. はじめに

ここでは、日本都市計画学会中国四国支部研究発表会原稿執筆要領について説明する。

2. 用紙設定

白地のA4判2あるいは4ページとする。横書き2段組を原則とし、ワープロソフト等で上マージン25mm、下マージン22mm、左右マージン15mm、1ページあたり42行、1段あたり23文字を基準（文字の大きさ10または10.5ポイント）として設定する。

3. 文字

和文はJIS第一水準、第二水準の漢字を使用し、本文書体は和文の場合明朝体、英文はTimes New Romanを用いることが望ましい。

4. 記載方法

1ページ目と2ページ以降の記入方法は異なるので、注意してください。

(1) 1ページ目上段

1ページ目上段に表題、発表者名の順に記載する。表題は第1行に14ポイントで書く（中央揃い）。和文表題および章タイトルはゴシック、英文の場合はBoldとすること。

発表者名（連名の場合は発表者を筆頭とし、氏名の前に○印をつける）は上段右側に寄せる。

(2) 1ページ目下段（発表者所属）

記載欄と本文の間に罫線を引く。

左から会員種別、所属（連絡先のメールアドレス、あるいはファックス/電話）の順に記載する。

英文の場合、講演発表者名はローマ字で姓・名の順に記入し、姓は全て大文字とし、名は頭文字のみ大文字とする。

記載欄が複数行にわたる場合でも下マージンは22mm取ること（下マージンには何も記載しない）。

(3) 図表および写真

図表は原稿に直接書き込み、写真は本文原稿に貼り込む。表タイトルは表の上、図・写真タイトルは図・写真の下にそれぞれ印字（表-1, 図-3, 写真-4のように）すること。

カラーの図・表・写真をモノクロのみで掲載する場合には、カラー図表の作成にあたって可能な限り都市計画講演集のモノクロ頁でも判読できるように努められたい。

(4) 補注、参考・引用文献

補注を必要とする場合は(1), (2), ……(n)の記号で本文該当箇所右肩に示し、参考・引用文献の前に一括掲載する。

参考・引用文献は本文に関わりあるものにとどめ、1)、2)、……(n)の記号で本文該当箇所右肩に示し、文末に引用またはアルファベット順に次の例を参考にして一括掲載すること。

単行本(1)：著者名(公刊西暦年号)、「書名」、参考・引用ページ、発行所名

単行本(2)：引用論文著者名(公刊西暦年号)、「論文名」、編著者名、『書名』、参考・引用ページ、発行所名

雑誌：引用論文著者名(公刊西暦年号)、「表題」、掲載誌名、巻(号)、参考・引用ページ、発行所名

URL：著者、製作者名、ページタイトル、言語の表示、入手先（オンラインの場合のみ必須、その他は補助）、入手日付

なお、英文文献等の著者名は、ファミリーネーム、ファーストネームの順で示すこと。

4. おわりに

その他詳細は、日本都市計画学会学術論文執筆要項に準じる。

本文は全て白黒印刷となるため、図表や写真などが白黒印刷でも見やすくなるよう配慮すること。

* 正会員 日本都市計画株式会社・中国四国開発部・計画課 課長 (xxxxxx@pppppppp.co.jp)

** 正会員 日本都市計画大学・大学院中国四国研究科 教授 (xxxxxx@hhhhhhhhhh-u.ac.jp)